

令和4年(2022)5月 『サンコウチョウの初鳴き』

毎年5月になると、松子や周辺の洞庭湖、軍荼利山には、南の国で越冬し、日本で繁殖する夏鳥たちが渡ってきます。キビタキ、オオルリ、サンコウチョウなどがその代表ですが、とりわけサンコウチョウは「ツキ、ヒ、ホシ（月、日、星）」と聞こえる美しい鳴き声で知られています。最初に鳴き声が聞かれる日を「初鳴き」と呼びますが、この10年間の記録を見ると、平均は5月18日で、最も早い記録が2021年の5月4日、最も遅い記録が2019年の5月27日でした。このように、生物の初鳴きなどの記録を「生物季節」と呼びます。昨年、気象庁は職員による生物季節観測の一部中止を発表しましたが、生物季節の記録は気候変動の影響などを知る上でとても大切なものなので、環境省や国立環境研究所がボランティアの協力を得て継続されることになりました。今年の初鳴きはいつになるのか、今から楽しみです。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中



(撮影：君島憲治)